

世帯と人口

(2月1日現在)

世帯	44,891	(+102)
人口	120,192人	(+189)
男	61,240人	(+102)
女	58,952人	(+87)

# 広報えびな

編集・発行

海老名市役所 広報広聴課

〒243-0492

神奈川県海老名市勝瀬175番地の1

☎ (046) 231・2111

URL <http://www.city.ebina.kanagawa.jp>

\*この広報は再生紙を使用しています。

休日には多くの人を訪れるサイクリングロードからは水管橋を真近に見ることができる



えびな模様…上郷から

## 住民の心をつないだ水の橋

### 上郷アラカルト

◎人口(2月1日現在)

3,470人  
(男1,864人・女1,606人)

◎世帯

1,290世帯

◎面積

1.8平方\*<sub>キロメートル</sub>  
【市全面積 26.48平方\*<sub>キロメートル</sub>】

◎地名の由来

海老名郷五か村の最上部の村という説や上海老名郷の海老名を省略し「上郷」と残ったという説などがある。

水道路を流れる水の速さは、大人がゆっくり歩くぐらいで、水源から浄水場までは約一日。長い道のりを、今日も静かに流れています。水管橋が結んだ交流は、多くの「友人」や「親類」というきずなへと形式を変えながらも、心のつながりは今も変わらずに続いています。



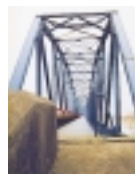
水道路は真つすぐ横須賀に続く

「人が通れたころ、厚木から横浜に行くには海老名駅まで歩いて来ていた。そして水管橋のおかげでお互いのつきあいが始まり、嫁入りがあったりして金田とはつながりが深いんだよ」と、住民の方は懐かしく語ります。

当初、上郷の水管橋は人が通れ、対岸の金田(厚木市)との行き来ができたので、地域同士の交流が深かったそうです。しかし、もともと人道橋ではなく安全面に問題があったことから、昭和40年代中ごろに水管橋への立ち入りが禁止されました。現在は土手を走るサイクリングロードから当時の面影を知ることができます。

また、水道管は、カーブによる余分な抵抗を防ぐため、山や川、田んぼや畑に関係なく、できるだけ真つすぐに通したため、市内の田んぼをはじめ、家なども地下に埋設された水道管をさけるように建て、逸見に到着するまでトンネルは12カ所、橋は10本ほどもあります。上部は道路のように使用されているところもあり、一見したただけは水道管が埋設されていることがわかりません。

横須賀水道路は中津川上流の愛川町にある、半原水源からの水を運んでいます。その歴史は古く、明治45(1912)年に旧海軍が工事に着手し、約10年かけて浄水場のある横須賀市の逸見まで水道管を引きました。全長53\*<sub>キロメートル</sub>もの距離を、電気ポンプなどを一切使用せず、68\*<sub>メートル</sub>というわずかな高低差を利用して、自然に水を流しているのが特徴です。



青い鉄橋に赤い管「上郷水管橋」

上郷は海老名駅西側に広がる田園地帯から相模川に面した地域です。その相模川に赤い管が目立つ青い鉄橋が架かっています。これは、生活に欠かせない水を、はるか横須賀市へと運んでいる横須賀水道路です。